

春の特別展 金井沢碑建立1300年記念

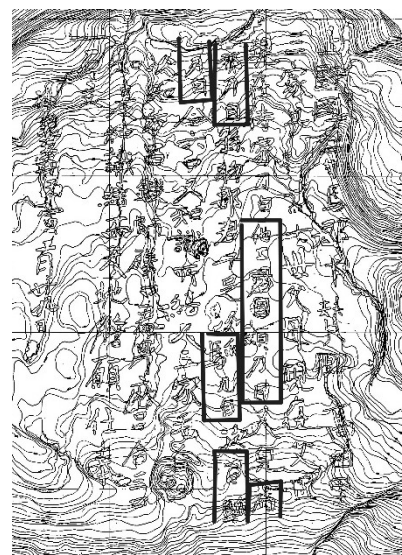
「金井沢碑 1300年の時を超えたメッセージ」関連行事 講演会④

# 『「現在父母」と長老女性「家刀自」 -仏教的祖先観の受容をめぐって-』

講師：義江 明子 氏（帝京大学名誉教授）

5月31日(日)13:30～15:00

金井沢碑には、「\*\*刀自(とじ)」という名前の女性が四名、記されている。「刀自」というのは、もともと豪族層の女性に対する尊称であり、八世紀には、女性名の構成要素になった。四名の冒頭に記された「目頬刀自(めづらとじ)」は、「現在侍家刀自(げんざいはべるいえとじ)」とされる。「七世父母現在父母」への報恩供養を説く盂蘭盆経(うらぼんきょう)の地方社会への浸透を背景に、「現在」する(= 生きている)「家刀自」(= 一族の長老女性)である「目頬刀自」への孝養のあり方を考えてみたい。



金井沢碑の「刀自」たち

- 会 場:群馬県立歴史博物館 視聴覚室
- 定 員:140名
- 参 加 費:参加費無料、ただし春の特別展観覧券が必要です。  
※当日以外の春の特別展観覧券でもご参加いただけます。  
(春の特別展観覧料(常設展も含む):一般800円)
- 申込方法:4月30日(木)より、事前申込が必要です。
  - 当館HP・右QRコードから入力フォームへアクセス
  - 電話(027-346-5522(開館日の9:30～17:00))※申込はフォーム、電話とも講演会前日の17:00までとなります。  
(定員に達した場合は、早めに受付を終了することがあります。)  
※状況により、内容に変更を生じる場合があります。

講演会④ 入力フォーム



群馬県立歴史博物館

アイ・ディー・エー  
高崎市綿貫町992-1(群馬の森内)  
TEL. 027(346)5522



ホームページ

